

# CHANNEL SCRAMBLE

## ●THE KIDS FINAL / 5月4日(大博多ホール)

この日の大博多ホールは、早くから長蛇の列が出来て、ざわめいていた。中には、朝の10時から並んでいたファンの女の子達も居たという。誰もがきっと複雑な気持ちで待っていた事だろう。開場になると、たちまちステージ前は混乱し始めた。500人ーいや、もっと入っているであろう。イスは殆ど埋まって、立ち見の客も出ている。誰もがKIDSの演奏を待ち望んでいた。スモークが焚き始め、メンバーが出て来て桐明氏の軽い挨拶。「今日は歌いまくるぞ!みんな楽しもう!」と言って、「コンプレックス・ヒーロー」が始まった。客は一曲目から総立ち。前の方では拳を上げる男の子達も多い。

解散の理由を教えてください。  
桐明=ファンは皆、昔から演ってる「ブランド・ニュー・インフォメーション」や「ヒト・ハ・タ」や「ナインティ・エンジェル」を要求します。自分でもこれらの曲が一番好きなんですけど、これら以上の曲が作れないという限界を感じたのです。キッズを5年間やって来たけど、実際、千葉が抜けた時、キッズは変わりました。俺はロンドンが好きでスタイル・カウンシルが好きになったが、千葉はRストーンズが好きで、自分の演りたい事を演りたいと言ったんです。俺も、このままずっとキッズを続けていくのがイヤだった。



博多でこれだけのファンがいるのに、東京で演ろうとは思わなかったのですか?

桐明=博多で人気のある曲があっても、東京に行ったらきっとウケないと思うんですよ。あれは博多だからこそ盛り上がったんです。それに、東京や日本よりもイギリスの方を目指したいです。東京とか気にしていません。

これからはどうするのですか?  
桐明=ロンドンに行きたい!土方してでも金を貯めて…。俺の夢はロンドンを実際に見て、そこの人達とバンドをして、肌でイギリスの音を感じたいんです。年をとってもずっと、音楽演っていきたいし…。

東京に行くとか、いろいろな噂が飛びかっていますけど。

桐明=この1年間は曲の構成とかに凝りましたが、これからは昔(17,8歳の頃)に戻って思い切った事をやりたい。今、鍵盤を練習しているんです。ピアノの弾き語りとかで淡々とした音を出したいというか。いろんな噂があるみたいだけど、とにかくまず自分の音を作りたい。人の歌よりも自分の曲をたくさん作りたいです。

今の博多のバンドをどう思いますか?  
桐明=タイコが居ないですね。すごいな、と思う人があまり居ない。他のベースとかに対しても言えるけど、もっと自分の楽器に拘りをもってやってほしいって言うか、とことん練習してほ



しいですね。

他のメンバーについては。

桐明=とにかく、自慢のメンバーなんです。もし、俺が明日にでも自分がソロで演りたいと思ったら、またこいつらに頭を下げるでしょう。全部、俺のワガママなんです。

キッズのファンって、みんなあつかいですね。

桐明=そう、アットホームなんです。

では、そのファンに一言!

桐明=Rock it! (笑)がんばります。

前半終わって、ギターが元キッズに在籍していたという、モーションの松永に変わる。その後、コンサートから駆け付けて来たヒートウェイブの山口も加わり、「1945年の彼に」を気持ち良く演奏する。

18曲が終わった後、アンコールがスグに始まる。「One More KIDS!」の掛け声が会場内に響く。男の子も女の子も一つの波になり、叫ぶ。アンコールは「ヤング・エモーション」、「ブルーベリー・ガール」、「ダンス・ダンス・ダンス」。「今日まで演って来た曲は明日から演りません」と言う桐明氏。ラスト・コール!最後は、やはりこの曲、「ナインティ・エンジェル」とてもキレイな散り際だった。泣いている女の子達も当然居た。でも、ファンの子達は皆、キッズを判ってくれているだろう。終わった後、楽屋に取材に行ったらファンからの花



束をたくさん抱いた桐明氏が笑顔で立って居た。これからの桐明氏の活動を又、期待します。

(HARUNA)

### KIDSメンバー

Vo.G: 桐明

G: 上村、松永(Motion)

山口(Heatwave)

B: 川口

Key: 西村

D: 寺山

### KIDS MENU

1. コンプレックス・ヒーロー
2. ア・デイ・イン・ディ
3. ノー・サンキュー
4. シニカル・サマー・ナイト
5. ラフカット・ダイヤモンド
6. ダンサー

7. ブランド・ニュー・インフォメーション
8. いとしのキッズ
9. ゴー・アヘッド・St.No.5
10. モダン・シティ
11. ジェーン
12. ファイト
13. ヒト・ハ・タ
14. シビリアン・グッド・タイム
15. シン・シティ
16. 1945年の彼に
17. ノイズ
18. サンセット・コーリング

(アンコール)  
ヤング・エモーション  
ブルーベリー・ガール  
ダンス・ダンス・ダンス  
(ラスト・コール)  
ナインティ・エンジェル